

□ゆるやかなステップのご案内

ゆるやかなステップでは、ウインドに相談・登録している思春期から成人期の方が、学習会や地域資源を利用した体験活動を通して、他者と交流をしながら、自己理解を深めたり、就労などの社会参加を目指したりする居場所を提供しています。

2つのグループに分かれて活動をしています。各グループについては、下記の通りです。

グループ構成

①スマイルクラブ【15歳以上の男女を対象にしたグループ】

②ナチュカフェ【年齢不問。女性対象にしたグループ】

※利用等について、ご質問等がございましたら、ウインドまでご連絡下さい。

グループ名	日時	場所
ナチュカフェ	R5年6月17日(土) 13:30~15:00	こくぶ学園会議室
スマイルクラブ	R5年5月28日(日) 13:00~14:45	いわみーる 視聴覚室

※参加を希望される方は、別途登録が必要です。本人、家族、支援者の見学可能です。

□R5年度ウインド主催研修・ブロック会議について

●LD への対応と具体的な支援

【日時】 令和5年5月20日(土)

【会場】 いわみーる401・402研修室(〒697-0016 浜田市野原町1826番地1)

【講師】 島根県立大学 人間文化学部 保育教育学科 准教授 内山 仁志 氏

【対象】 幼児教育施設職員・教職員・児童発達支援員・放課後等デイサービス事業所等支援員・行政機関・保育所幼稚園小学校等巡回スタッフ、その他興味のある支援者の方

【定員】 各80名 ※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

【申込】 ウインドホームページ又は案内文書をご確認下さい。

第1部

9:30~ 受付
10:00~12:00 講義

【内容】 就学前~小学校低学年編

LD 疑い児への対応方法や具体的支援方法について研修します。指導と支援が一体となった RTI モデルの説明や初期の読み指導としてできる内容について具としての ICT 活用のお話をします。

第2部

12:30~ 受付
13:00~15:00 講義

【内容】 小学校高学年~高校編

LD 児への対応方法や具体的支援方法について研修します。文や文章レベルでのつまづきへの対応、テストでの配慮の方法例や文具としての ICT 活用のお話をします。

●ウインドブロック会議

昨年度のブロック会議は、6月に3圏域合同の ZOOM 会議を開催致しました。3圏域合同ということもあり、普段関わりの少ない地域の方と交流する機会になったと思います。今年度についても、6月に、昨年同様の3圏域合同の Zoom 開催で予定しております。ご案内につきましては、もうしばらくお時間をいただければと思います。



風



発行元

「島根県西部発達障害者支援センターウインド」
 〒697-0005 島根県浜田市上府町イ 2589
 TEL:0855-28-0208 FAX:0855-28-0217
 E-mail wind1841@rhythm.ocn.ne.jp
 URL <http://iwami-wind.org/>

新型コロナウイルスが感染拡大してから、3年目の春を迎えました。with コロナではありますが、進級・進学・就職・異動など、様々な場面で新しい環境の中、期待と不安の中を過ごされていると思います。当センターでは、当事者やその家族・支援者の方々が安心した暮らしができるお手伝いをしていきたいと思います。今年度もよろしくお願ひ致します。

□ウインド医療相談

*専門の医師をお招きして医療相談を実施しています。診断・投薬はできませんが、医療に関わる心配など気軽に相談できます。【お一人当たり1時間の予約制】

*事前にスタッフが相談内容をお聞きし、当日も同席させていただき、その後の支援に繋げていきます。

日時	場所	担当医
5月18日(木) 13:00~16:00	ウインド	西部島根医療福祉センター 大野 貴子 先生
7月12日(水) 13:45~16:45	ウインド	美都診療所 安藤 幸典 先生

※医療相談の利用は、ウインドホームページ(医療相談)をご確認ください。(空き状況が確認できます)



□島根県自閉症協会 地区部会

島根県自閉症協会さんの各地区の勉強会にウインドのスタッフも参加しております。

初めて参加される方は、日程や場所が変更になる場合がありますので、事前にウインドのスタッフまでお問い合わせ下さい。

地区	時間	場所	開催日
大田	10:00~12:00	仁万まちづくりセンター	4/5(水)、6/7(水)、7/5(水)
邑智	14:00~16:00	元気館	調整中
江津	9:30~11:30	嘉久志コミュニティーセンター	4/20(木)、5/18(木)、6/15(木)、7/20(木)
浜田	9:30~11:00	いわみーる視聴覚室	4/13(木)、5/11(木)、6/1(木)、7/6(木)
益田	10:00~12:00	ウインド益田相談室	4/20(木)、5/25(木)、6/22(木)、7/27(木)
吉賀	10:30~12:00	よしかの里	4/28(金)、6/23(金)
津和野	10:30~12:00	はなみずき	5/23(火)



□ペアレントメンター“ひとコメ”ペンリレー



“ペアレントメンター”とは・・・

発達障がいの子育て経験を活かして、他の保護者のよき相談相手となれるよう、ペアレントメンター養成研修を受講、修了した先輩保護者さんの方です。島根県西部地区で活動されているメンターさんをペンリレー方式で紹介します。今回は、主に大田市内で活動されているメンターさんです。

“藤”つながりということで益田の藤井さんからバトンを受け取った大田市の加藤多恵です。

大田市のメンターは昨年2人のお母さんが研修を受けられて6人になりました。残念ながら家庭の事情などで今年度は4人での活動となりましたが、「それぞれの出来ることを出来る時に!!」をモットーにやっていたらいいなと思っています。コロナ禍ということもあり、みんなで活動する機会は少ないのですが、自分たちが悩んだり苦しんだりしていた時に、話を聞き、アドバイスをしてくださった先輩お母さん方のように、今困っておられるお母さん方に寄り添えることができればいいな♡と思っていますので、よろしくお願いします。

次回の“ひとコメ”はケーキを作るのも食べるのも大好き♡な加藤から“ケーキつながり”ということで、チーズケーキが大好きな邑南町のメンター峽戸さんにバトンタッチしますね (*^^*)



□当事者の声(作品紹介)コーナー

●僕の私の趣味(中野和政さんの詩)

「城山の桜(詩)」
日溜まりに静かに耳を澄ます石
できる限り遠くへと、桜の樹は腕のように
枝を伸ばし
穏やかな桜色に、桜の花は咲き誇り
青空の肌寒さを緩くする

和菓子の様に柔らかく
甘さの様に淡く
梢(こずえ)を風が吹き抜ける時、
煌(きらめ)きながら流れゆく
星の塵と舞う桜の花びら

【作品募集】

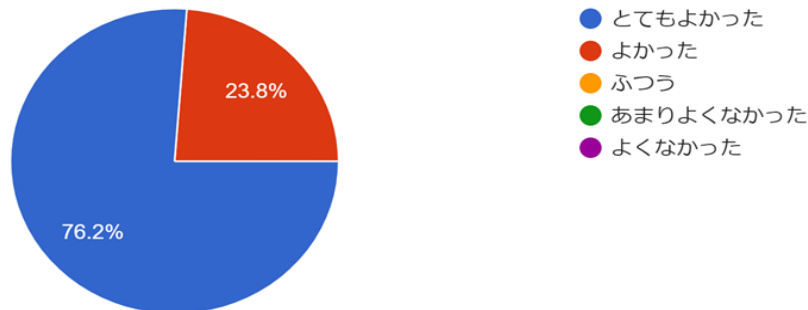
当事者の方の作品(イラストや詩など)がありましたら、ウインドまで、ご連絡下さい。年4回発行している機関紙にて、ご紹介させていただきます。



□ ウィンド研修報告 『発達障がい地域啓発セミナー2022』

この度の発達障がい地域啓発セミナー2022では、2018年度のセミナーで島根県にお越しいただいた元村祐子先生に「当事者として、親として～発達障がいへの理解～」のテーマでご講演いただきました。センターとしては、初めて動画配信の方法で開催致しました。

【セミナー動画配信の内容について】



【参加者からの声】

- ・当事者の元村さんの明るさで前向きな話として聞けました。
- ・支援者として、“ねばならない”“型にはめた支援”になっていなかったか？その子自身が元気になれるようなポジティブな関わりができていたかを改めて考えさせられました。
- ・気になったワードは、“いい意味でのあきらめ”これが自己理解なのだと思いますが、当事者にも保護者にも簡単ではないことです。元村さんも人生いろんな経験の中で受け入れられたことだと思います。ある時期いい意味であきらめることができるためには、小学校の時代にはどんな関わりが大切か、このあたりをもう少し聞きたいと思いました。
- ・お話を聞くことができよかったです。自分自身の理解（自分も特性があると思っていたので）や、発達障がいとはなにか（一人ひとり違う）、発達障がいのとらえ（できないことが困ることとは限らない）、支援のあり方（できないことを支援するのではなく、本人が困っていること、他の人に迷惑をかけないようにすることへ支援する）など、改めて認識できました。たくさんの実話を伺い、いろんなことがストンと心に落ちました。とてもよかったです。ありがとうございました。
- ・発達凸凹という考え方、『誰かに優しいはみんなに優しい』など心に響きました。自分自身の理解や考え方が整理できました。
- ・私も発達障がい児の親として、とてもありがたい研修でした。今まさに不登校や人間関係で困り感を抱いているので痛感しています。もっと発達障がい等を（当事者保護者じゃないと理解は難しいと思いますが）深く知っていただきたい。広まれば本人の困り感や保護者の痛みが軽減するのではないかと思います。ぜひにはいられません。
- ・YouTubeだったので、都合のいい時間に聞けるし、聞き逃した言葉も繰り返し聞けたし、とても良かったです。

【ウィンドスタッフからの声】

ユーモア溢れる元村先生のお話は、気づけば聞き入ってしまう魅力的な内容でした。また、先生ご自身やお子さん、当事者の方のエピソードも多く紹介されました。それらのエピソードからは、当事者であるかないかに関わらず、発達障がいの特性や困り感は自分たちと繋がっているものであることをより実感します。改めて、元村先生、動画をご視聴された方々、大変ありがとうございました。